

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成19年度吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成20年2月13日(水) 午後3時00分から 午後4時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	中村信委員、矢野義光委員、松村副子委員、大脇利彦委員、 藤原誠委員、宮崎利彦委員、松澤薫委員
欠席委員(者)氏名	竹内盛委員、峯尾武巳委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課長 岡田弘好 健康増進課課長補佐 和田秀代 いきいき推進課介護認定係長 榎本ノリ子 いきいき推進課介護給付係長 森保美 いきいき推進課高齢福祉係長 高鹿功 いきいき推進課介護給付係主事 石塚晶則
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	1 第3期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗 状況について(公開) 2 第4期(仮称)吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計 画の策定に伴う高齢者実態調査の実施について(公開) 3 地域包括支援センターの活動状況について(公開) 4 地域密着型サービス事業について(公開) 5 その他(公開)
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	3人
会 議 資 料 の 名 称	吉川市介護福祉推進協議会資料
会議録の作成方法	録音機器を使用した全文記録 録音機器を使用した要点記録 要点記録
会議録確認指定者	矢野義光委員、松村副子委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
司会	開会 藤原委員の紹介（藤原委員よりあいさつ）
中村会長	あいさつ
司会	本日は7名の委員出席により、定足数の過半数に達しており、会議は有効に成立している。また、この会議は吉川市情報公開条例に基づき公開となっており、傍聴人は5名までとする。  資料説明  以降の議事進行については会長に依頼する。
中村会長	議事録署名委員を選出したい。私から指名させていただく。矢野委員、松村委員にお願いしたい。
両委員	了承。
中村会長	（1）第3期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	（事務局より説明）
中村会長	この内容について、ご質問やご意見をお願いしたい。
矢野委員	1点目、健康維持管理の訪問指導について、見込量と実績に大きな差がある。どのような理由か。 2点目、養護性のある高齢者の実態把握は厳密に実施する必要がある。事務局の考えはいかがか。 3点目、見守りネットワークについて詳細を知りたい。また、ネットワークの中心は市と考えてよいか。 4点目、災害時要援護者登録制度について、地元の方と協力をしなさいという県からの指導があるが、それとどう噛み合わせていくのか。地域住民の総合援助の方法は。 5点目、要介護4、要介護5の方が減っている理由は。 6点目、ショートステイについて、事業量の変動がないにもかかわらず、給付費が減少している理由を伺いたい。
事務局	1点目、平成20年度に制度改正があり、保健指導は健康増進課で実施する事となっている。来年度においても、保健指導事業がスムーズに実施できるよう、今年度も職員教育のため訪問指導に力を入れた。 2点目、日常的に地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、民生委員の協力を得ながら、的確に把握をしていきたいと考えている。 3点目、協定締結事業者が、「保護の必要あり」と見受けられる方を発見した場合、必要に応じて保護していただくことになる。なお、行方不明者がいた場合、市から情報を提供し、発見のための協力をいただいている。平成19年に一件ほど、行方不明者の情報を提供した実績がある。また、ネットワークの中心は市と包括支援センターが一体となり担っていく。協定締結事業者については、関係機関のご協力をいただきながら今後

	<p>も拡大していきたい。</p> <p>4点目、名簿の登録については 元気高齢者のうち独居高齢者・日中独居高齢者 障がい者 要介護者の3本立てとなっている。来年度は自主防災組織等と積極的に協定を結び、市は名簿の提供をしていく。自主防災組織機関には防災担当者や災害時の初期活動者を配置してもらい、日頃の訓練活動に活かしていただきながら、災害時には迅速な救助が出来るようにしていきたい。</p> <p>5点目、根拠は把握していないが、居宅サービスの利用などで重度化を防いでいるのではないか。</p> <p>6点目、平成17年10月までの実績を基に見込み額を定めたが、平成17年10月に介護保険法の制度改正で、食費及び居住費を自己負担にする変更があった。改正前の額で見込みを立てた事による矛盾点である。なお、自己負担については、すべてが利用者負担になったわけではなく、所得の低い方に関しては、介護保険給付費から支給しており、平成18年度においては施設入所者も含め48,000,000円の支出をしており、そのうちの一部がショートステイの利用に充てられている。</p>
宮崎委員	<p>1点目、配食サービスの料金及び対象者の要件は。</p> <p>2点目、老人クラブ、連合長寿会に支出している補助金の効果は。</p> <p>3点目、シルバー人材センターの補助金額は。</p>
事務局	<p>1点目、委託料は1食800円で、利用者負担は400円である。対象者要件は一人暮らし及び日中一人暮らしの高齢者世帯である。</p> <p>2点目、補助金以外にも個人から会費を徴収して運営している。補助金の効果について、具体的な測定はしていないが有効に活用されており、今後も引き続き助成していく予定である。</p> <p>3点目、平成18年度の補助額は12,240,000円、平成19年度は11,340,000円である。</p>
松村委員	<p>後期高齢者が減少しているのはなぜか。</p>
事務局	<p>昨年と比較して亡くなられた方も多い。また、計画値より転入者に若い方が多かったのではないか。</p>
中村会長	<p>(2)第4期(仮称)吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に伴う高齢者実態調査の実施について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p>
中村会長	<p>内容について、ご質問やご意見をお願いしたい。</p>
矢野委員	<p>調査期間について知りたい。</p>
事務局	<p>2月下旬から年度内までである。</p>
中村会長	<p>(3)地域包括支援センターの活動状況について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p> <p>再委託について当協議会の承認を頂きたい。</p>
矢野委員	<p>実績は予定と比べていかがか。計画どおり進んでいるのか。</p>

事務局	要支援者の介護予防プラン作成が伸びていない実情がある。理由として、サービスを希望した方は予防サービスに移行していくが、介護度の軽い方はサービスを使わない場合が多いためである。それが原因となってADLが低下した方の把握はしていないが、市は特定高齢者ととも定期的にフォローをしてかなければならないと認識している。
中村会長	(4) 地域密着型サービス事業について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(事務局より説明)
矢野委員	地域密着型サービス事業所を開設する際、市町村の監督権や業務上の制約はすべて付随してくるのか。
事務局	地域密着型サービスのいくつかの事業は、計画に位置付けられており、その範囲内で申し出があった場合、協議会にご意見を頂き進めていく。
中村会長	その他質問があれば、お願いしたい。
各委員	特になし。
事務局	その他として事務局から連絡事項を伝える。介護福祉推進協議会委員の任期については、平成20年5月15日までとなっている。任期終了後は各団体の推薦や公募により、新たに委嘱させていただく事になる。
中村会長	以上で本日の議事はすべて終了した。各委員の協力に感謝したい。
事務局	閉会
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成20年 3月11日</p> <p>署名委員 松村 副子                      署名委員 矢野 義光</p>	